

有害鳥獣による農作物被害対策に関する調査

経済民生常任委員会

📎 テーマ選定理由

本市では、有害鳥獣による農作物被害を減少させ、農家の経営の安定を図るため、有害鳥獣被害対策事業を推進しているが、依然として大きな被害が生じている。

そのため、特に被害が大きいイノシシとニホンザルによる農作物被害へのさらなる対策が必要であることから調査項目に決定した。

📎 調査期間

令和2年10月～令和3年5月(委員会を13回開催)

📎 調査の手法

1 現状把握

(1)現地で調査を行いました(11/12)

有害鳥獣対策で使用されている捕獲罠や侵入防止柵を現地で確認

場所 イノシシ、サル捕獲用罠設置場所等(吾妻地区及び松川地区)

内容

①吾妻地区(在庭坂)

- ・イノシシ箱罠視察
- ・イノシシくくり罠視察
- ・サル電波・追い払い用花火視察

②吾妻地区(町庭坂)

- ・サル大型箱罠視察

③松川地区(関谷)

- ・電気柵設置箇所視察



(2) 市の担当部署から説明を聴きました(12/18)

部署 農政部農業企画課

内容

- ①有害鳥獣の生態及び生息状況等について
- ②有害鳥獣種別の被害状況について
- ③本市の取り組みについて
- ④本市が抱える課題について
- ⑤本市の今後の取り組み方針について



(3) 関係者や専門家などを招いて意見を聴きました(1/19)

内容と参考人

- ①猟友会(実施隊)の概要、現状と課題について

福島県猟友会福島支部長 磯邊秀雄氏 (福島市鳥獣被害対策実施隊副隊長)

- ②本市の現状・課題と今後行うべき対策について

福島大学食農学類 准教授 望月翔太氏(福島市有害鳥獣被害対策協議会アドバイザー)



2 先進事例調査

(1) 他市町村の取り組み状況を調査しました(2/4)

調査先 伊達郡桑折町(コロナ禍の状況を踏まえ、現地調査から調査票送付に変更)

内容 ICTを活用した有害鳥獣対策について ほか

📎 調査結果の報告

本会議で、委員長が調査の報告を行いました(6/15)

[委員長報告はこちらからご覧ください。](#)



📎 議会からの政策提言

議会からの政策提言として、報告内容を取りまとめ議長から市長へ、提言書を提出しました(6/15)

[提言書はこちらからご覧ください。](#)

提言内容

- ①有害鳥獣被害対策の体制づくりについて
- ②有害鳥獣を農地へ寄せつけないための環境整備について
- ③有害鳥獣対策にICTを活用することについて

